

京都芸術劇場 ニユースレタ ー

Vol. 7 2008. 1.

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター
主催プログラム

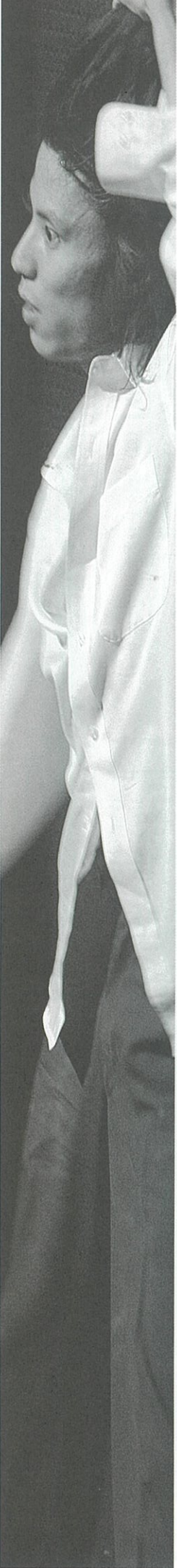
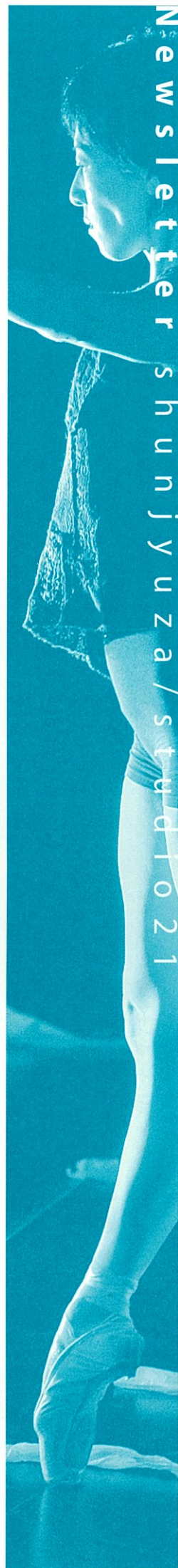
2008年3月7日(金)～9日(日)

『恋する虜』

—ジュネ/身体/イメージ—

◀◀◀詳細は3ページへ

Newsletter shunjuza/studio21



スケジュール・ピックアップ

維新派『nostalgia』〈彼〉と旅をする20世紀三部作 #1

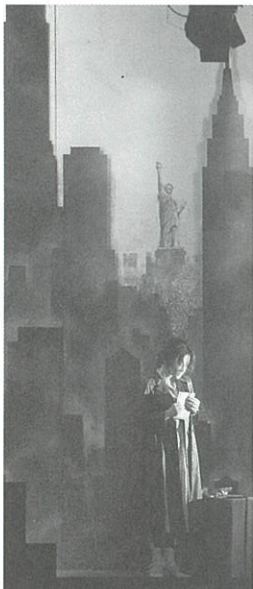
2008年2月2日(土) 19時 3日(日) 13時開演 京都芸術劇場 春秋座
 前売料金：S席5000円/A席4500円 友の会S席4500円/A席4000円
 (当日は各500円増 *全席指定
 作・演出：松本雄吉 音楽：内橋和久 出演：升田学・岩村吉純・藤本太郎・石本由美・平野舞・エレコ中西 他

大阪を拠点に活動する維新派は、一九七〇年の結成以来、全作品の作・演出を手がける松本雄吉のもと、〈演劇〉というジャンルにとらわれない活動を続けてきました。

関西弁のイントネーションを生かし、バリ島のケチャにも似た独特のラップスタイルの台詞廻しで演じる「チャンチャンオペラ」(天王寺ジャンジャン町に由来)、映画のセットさながらのリアルな舞台美術、少年少女に扮した白塗りの役者たちによる集団パフォーマンス——そのスペクタクルな舞台は、多くの観客を驚愕させ魅了しています。

今回上演される『nostalgia』の舞台は南米。「20世紀三部作」の第一部として、日本からブラジルへの移民、少年ノイチの半生を描きます。一九〇八年、移民船 笠戸丸でブラジルに渡ったノイチは、反乱のさなか人を殺し、ポルトガル移民で恋人のアン、先住民のチキノとともに南米を放浪することになる。行く先々で日本人排斥運動やクーデターに巻き込まれ、散り散りになってしまふ三人はたしてその運命は？ 維新派が南米ツアーを行った際に想を得たという本作は、史実をもとにしたフィクションで、ロードムービーのような映画的な手法で描かれています。

二〇〇七年七月の大阪公演では四〇〇〇人近くの観客を集め、批評家からは「芸術性と娯楽性を兼ね備えた奇跡のような舞台」と絶賛されました。〈朝日舞台芸術賞〉の受賞、〈アテレードフェスティバル〉への招聘など、国内外で高い評価を得ている維新派。京都芸術劇場に初登場です。この再演の機会をどうぞお見逃しなく。



写真=福永幸治(スタジオエポック)

空中庭園 能ジャンクシオン

たえま 『當麻—折口信夫《死者の書》による』

2008年3月1日(土) 17時 2日(日) 14時開演 京都芸術劇場 studio 21
 前売料金：一般3000円 シニア2500円 学生&ユース2000円 友の会2700円
 (当日は500円増 *全席自由席 *シニアは60歳以上、ユースは25歳以下の方。要身分証明書提示
 *チケット発売日2008年1月7日)
 作・構成・演出・美術：渡邊守章 出演：後藤加代、梅若晋矢 観世流シテ方、梅若慎太郎 観世流シテ方



写真=太田威重

舞台芸術研究センターでは、伝統的な演劇の豊かな想像力を現代演劇と結びつけ、新たな舞台作品を創造するため、「越境する伝統」を研究テーマの基軸のひとつとして、これまで活動を行って来ました。能ジャンクシオン『當麻—折口信夫《死者の書》による』は、能の『當麻』と折口信夫の小説『死者の書』の詩的なテキスト、能と現代劇の語りと身体技法の出会いによって生み出された作品です。一九八八年に東京・渋谷のバルコP.A.R.T. 3で上演された観世榮夫、野村武司(現萬庵)、後藤加代による初演では大変好評を博しました。今回はリニューアル・ヴァージョンでの上演となります。

物語の舞台は、「蓮系の曼荼羅」縁起で名高い當麻寺を麓にもつ二上山。春・秋の彼岸中日、帝への謀反の罪で処刑された大津皇子の怨霊が目覚め、中将姫に取り憑き、二上山に沈む日輪の「日想観」の体験をさせる。しかし、その時に姫が見たのは「阿弥陀」ではなく、美しい半裸の若者の莊嚴な姿だった…。時空を超えた異形の恋。その真の謎とは？

民俗学者・歌人・小説家として知られる折口信夫が、日本人の古層に沈む《言葉》と《イメージ》を通じて紡ぎだした「エロス」と「魂」のドラマ、そして、渡邊演出のラシーヌ悲劇で注目を浴びた後藤加代の存在感と強度のある「語り」をどうぞお楽しみください。

わたあけおま

渡邊守章
 演出家。空中庭園主催。東京大学名誉教授。京都造形芸術大学客員教授。フランス文学・表象文化論専攻。主な演出作品に、ラシーヌ『悲劇フェードル』(芸術祭優秀作品賞)、ジュネ『女中たち』(説売演劇賞)。著書に『虚構の身体』、『哲学の舞台』(ミシェル・フーコーとの共著、訳書にクローデル『縊子の靴』小西財団日仏翻訳文学賞)、ロラン・バルト『ラシーヌ論』(説売文学賞受賞)など多数。

◎2日公演終了後、別会場にてシンポジウムを開催します。
 「折口信夫と越境する伝統」

出席者：浅田彰(京都大学准教授)、松浦寿輝(東京大学教授)、渡邊守章
 会場：京都造形芸術大学人間館NA102 定員：150名
 料金：無料(公演チケット半券が必要)要予約 申込先：京都芸術劇場チケットセンター



松浦寿輝



浅田彰



渡邊守章

『恋する虜』—ジュネ／身体／イマージュ—

2008年3月7日(金) 19時 8日(土) 16時、9日(日) 16時開演 京都芸術劇場 春秋座
 前売料金：一般3000円 学生&ユース2500円 友の会2700円(当日は各500円増)

*日時指定・整理券番号つき自由席 *ユースは25歳以下の方。要身分証明書提示
 *チケット発売日2008年1月11日(金)

企画・構成：山田せつ子

引用テキスト：山田せつ子 『恋する虜』(鶴飼哲・海老坂武訳、人文書院刊)

ダンス：山田せつ子 砂連尾理 白井剛 寺田みさこ 佐藤健太郎 竹内英明 野瀬杏子 京極朋彦
 映像：伊藤高志 美術：杉山至 浅沼秀治 サウンド：稲垣貴士
 照明：高原文江(真昼) 衣裳：權田真弓 構成補佐：相模友士郎
 助成：財団法人パソナ文化財団 京都芸術センター制作支援事業

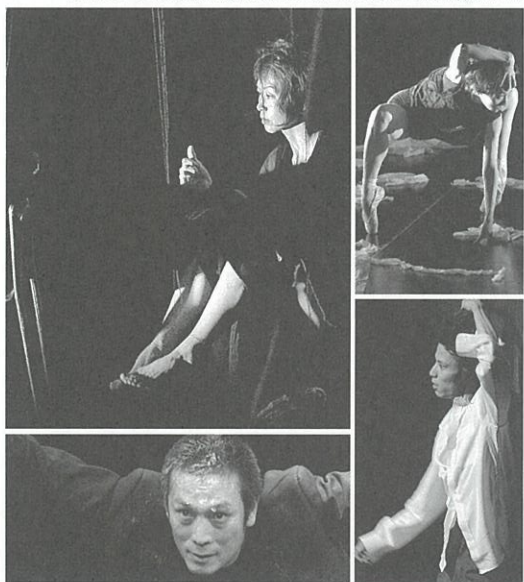
舞台芸術研究センターでは、ダンサー／コレオグラファーで主任研究員の山田せつ子(本学教授)を中心に、フランスの作家、ジャン・ジュネ(一九一〇―八六)のテキストを軸として「創作」と「研究」が緊密に連繋しながらダンス作品の上演へと到る共同プロジェクトを展開してきました。多彩なダンサーの他、美術家、映像作家、批評家、研究者らがさまざまに交わりながら、ジュネの作品を読み、作品に関わる多様な問題について考え、単にそれを素材や口実に用いるのではなく、テキストの微細な運動に共振して新たなダンスの身体や空間を発見していくための実験や研究を重ね、現代における舞台表現の根源的な可能性を探っていく試みです。

二年あまりのプロセスの中で、通常のダンスのリハーサルと並行して、ジュネに関する著作もあつる鶴飼哲氏、宇野邦一氏を招いての研究會や、ダンサーによる実演を伴う公開セミナー、映像や美術の実験を含む「ワーク・イン・プログレス」、またパレスチナ滞在期の追憶を中心とするジュネの遺作『恋する虜』へのアプローチとして、佐藤真監督『エドワード・サイード Out of Place』、『ミシェル・クレイフィエリアル・シヴァン監督』『ルート181』などの映画上映会とシンポジウムなどを開催してきました。

そしていよいよ二〇〇八年三月には、このプロジェクトの締めくくりとなるダンス公演『恋する虜—ジュネ／身体／イマージュ』が行われます。京都芸術劇場・春秋座の空間を大胆に捉えなおし、身体、映像、美術、音、言語などが多様に交錯するなかで、劇場空間におけるダンスのあり方を根本的に問いなおす作品です。ジュネの遺した作品群とその特異な生の軌跡が、現在の私たちを取り巻く状況とどう切り結び、これまでの試行がどう作品として結実するのか。どうぞご期待ください。

写真=清水俊洋

山田せつ子(左上) 砂連尾理(左下) 寺田みさこ(右上) 白井剛(右下)



ジャン・ジュネ(Jean Genet)

一九一〇年、パリで生まれる。父は不詳。七カ月で母親に遺棄される。国境をこえて転々と放浪しながら窃盗などの罪を重ね、在監中の四二年に詩集『死刑囚』を出版。以後『花のノートルダム』『薔薇の奇蹟』『葬儀』『泥棒日記』など、犯罪者や同性愛者の立場を公然と引き受けた小説群や戯曲『女中たち』により、コクトー、サルトルらの賞賛を受け作家としての名声を確立。六年間の沈黙の後、五五年から戯曲『バルコン』『黒んぼたち』『屏風』などを発表し、その後の前衛劇の展開に大きな影響を与える。六八年以降はアメリカ黒人解放闘争、パレスチナ解放闘争などに深く加担しながら特異な政治的ルポルタージュを発表。八六年にパリで死去。

◎8日、9日公演終了後、ゲスト・スピーカーを交えて参加アーティストによるポスト・パフォーマンス・トークを開催。
 ゲスト：8日・宇野邦一(フランス文学・思想)
 9日・石井達朗(舞踊評論家)

◎公開トーク・セッション

応答する身体—恋する虜ジュネ／身体／イマージュから

日時：3月10日(月) 14時

出席者：鶴飼哲(フランス文学・思想)

会場：山田せつ子、砂連尾理、白井剛 ほか

会場：京都造形芸術大学 人間館 NA102

料金：無料 *要予約

申込先：京都芸術劇場チケットセンター

日韓共同プロジェクト

『ディクテ』関連企画

シンポジウム&

リーディング&上映会

2008年3月22日(金) 時間・会場未定
 出席者：松田正隆、八角聡仁ほか

舞台芸術研究センターでは、韓国系アメリカ人女性アーティスト、テレサ・ハッキオン・チャの自伝的テキストに基づき、日本と韓国の俳優の共演による演劇作品『ディクテ』(構成・演出 松田正隆)の公演を二〇〇八年九月に予定しています。今回はその中間報告として、上演台本のリーディング、研究者らに交えたシンポジウムを行い、併せて、多彩なジャンルで活躍したテレサ・ハッキオン・チャの映像作品を特別上映します。

◎公演チケットの購入申込先

京都芸術劇場チケットセンター

電話 075-791-8240

◎主催・お問い合わせ

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

電話 075-791-9437

FAX 075-791-9438

WEB <http://www.k-pac.org/>

スケジュール・ピックアップ

東アジア藝術文化研究所(京都造形芸術大学、弘益大、東北芸術工科大学) シンポジウム

「近世東アジアにおける芸術と生活

— 日本・韓国・中国 —

2008年3月1日(土) 10時~17時(時間変更あり) 京都芸術劇場 春秋座
 聴講無料・事前申込制
 主催：京都造形芸術大学比較藝術学研究中心
 共催：弘益大、東北芸術工科大学

司会：高階秀爾(京都造形芸術大学大学院長・比較藝術学研究中心長)
 出演者：朴 彦坤(弘益大、東アジア藝術文化研究所長)

赤坂憲雄(東北芸術工科大学大学院長・東北文化研究センター所長)

張 大石(東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター准教授)

小川後楽(京都造形芸術大学芸術学部教授・比較藝術学研究中心研究員)

中村利則(京都造形芸術大学歴史遺産学教授・比較藝術学研究中心研究員)

芳賀 徹(京都造形芸術大学名誉学長) ほか

人間の生活は、様々な衣食住の形態を取りながら、それと関わる芸術を生み出してきた。さらに、そうして生み出された芸術は、地域や時代によって変遷していく。例えば、現在西洋諸国において、日本を代表する文化と見なされる茶道は、元々中国に起源を遡り、日本では室町時代から隆盛し、利休によって大成された。茶の湯は、道具や茶室から、儀礼や作法まで包括する総合芸術を形成したが、他方で日常生活にも浸透し、それは今日まで続いている。韓国の弘益大、京都造形芸術大学、東北芸術工科大学の三大学共同研究機関である東アジア藝術文化研究所は、とりわけ相互に密接な関係を持つ東アジア文化圏における、芸術文化の交流と変容の歴史を多角的に探るために設立された。今回の第二回東アジア藝術文化研究所シンポジウムは、「生活と芸術」をテーマとする総合的研究(文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業)の一環として、近世の日本・韓国・中国における芸術と生活の多彩な現われの共通点と相違点を明らかにし、そこから現代まで続く文化の多様性の意義をも論じようとするものである。三大学からの第一線の研究者によって展開される議論は、東アジア文化圏のダイナミズムを浮かび上がらせるだろう。

映像・舞台芸術学科舞台芸術コース5期生卒業制作公演

『馬の最も速い走り方』

2008年1月17日(木) 18時30分、18日(金) 19時30分、19日(土) 14時開演 ※開演は開演の30分前
 京都芸術劇場 春秋座 舞台倉庫 / 料金：前売7000円 当日10000円 ※学生は2000円引き

省略している毎日をはりおこす超速宮パフォーマンス

私たちは学生で、卒業制作としてパフォーマンスを上演します。それは私たちの色々がごたませになつたようにみえるものです。それはあなただちの色々がごたませになつたようにみえるかもしれません。もし興味があれば、gallop@newad.jpまでメールを送ってください。(構成・演出/gallop)

映像・舞台芸術学科山田せつ子クラス授業発表ダンス公演

『アイとかダとかアイダとか』

2008年1月18日(金) 18時、19日(土) 16時開演 ※開演30分前 京都芸術劇場 studio 21 入場無料
 ダンス・演劇・映像など、これまで多領域にわたり学んできた学生が集まる三回生ダンスクラス。この大学に入学してはじめてダンスに出会った人。それまでとは違った新たなダンスをここで切り開こうとしている人。それぞれが今ここにある身体と対話し、世界の点になろうとしている。自己の身体に眼差しを向け、異なる体験を持つ他者の身体と出会い、まだら模様を描くようにわたしたちはひとつのダンスを紡ごうとしています。(演出部/映像・舞台芸術学科舞台芸術コース三回生 斎藤明)

映像・舞台芸術学科舞台芸術コース5期生卒業制作公演

『いろいろあい』

2008年2月8日(金) 開演19時、9日(土) 開演13時 ※受付は開演の60分前、開場30分前
 京都芸術劇場 studio 21 / 料金：前売7000円 当日10000円 ※学生は2000円引き

「目を離れた隙に構図が変わったような...」

絵画を見るとき、よくそんな感覚にとらわれる。さつき見たときよりも青色が濃くなっている

抱き合っていた男女がより密着したように見える...気のせいだろうか。この感覚は好きな人に対して気持ち大きくなったり小さくなったりするのは何処か似ている。例えば、「疑う」「気持ち。私はさつきまで知っているような気だった。あい」を、疑ってしまっている。(構成・演出/映像・舞台芸術学科舞台芸術コース四回生 伊藤美帆・岩田絵梨)



高校演劇コンクール近畿大会優秀校第七回「春秋座」招待公演
演じる高校生

神戸龍谷高等学校『アジアの純情』高橋利光(演劇部顧問)作
立命館高等学校『人の川』演劇部作

2008年1月13日(日) 14時開演

京都芸術劇場 春秋座

前売料金：一般1500円 学生&ユース(25歳以下)500円

主催：近畿高等学校演劇協議会

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

高校演劇コンクール近畿大会での優秀校を招いての『演じる高校生』も今回で第七回目となりますが、毎回、花道や迫りなど春秋座の舞台機構をうまくいかした演出で、コンクールとはひと味違う舞台を見せてくれます。今年も十一月三、三、四日により文化ホールで近畿地区大会が開催され神戸龍谷高等学校と立命館高等学校の二校が春秋座に招待されることになりました。感受性豊かな高校生の目に今の社会はどのように映っているのか。彼らが演劇を通して何を表現し訴えかけたいのか：ぜひご覧ください。

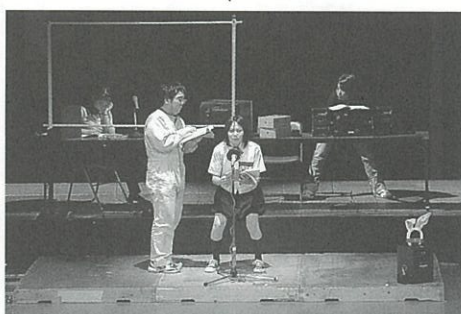
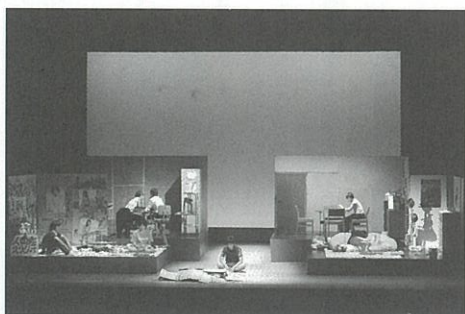
作品紹介

◎神戸龍谷高等学校『アジアの純情』高橋利光(顧問創作)

取り壊しを翌日に控えた「破れ坂スタジオ」。ここでは、アジアのある小国で制作された映画の吹き替えが行われようとしていた。何も知らずにこのぼろスタジオにやって来た、売れない声優京野あひるに、艱難辛苦が襲いかかる！あひるはこの苦境を乗り越えることが出来るのか？謎の男、沖田の正体は？そして、時間までに吹き替えは終了するのか！神戸龍谷高等学校演劇部がオリジナルキャストでお送りする総天然色シネマスコープ演劇『アジアの純情』、京都春秋座にて封切り迫る!!

◎立命館高等学校『人の川』演劇部作

別々の場所で各々の日常を営む人々。そこへ訪れる都市伝説「乙女ちゃん」とその死。「乙女ちゃん」の死体発見を機に、人々が交流していく。



第12回左京区民文化フェスティバル

2008年1月27日(日) 12時30分開場 13時開演

会場 京都芸術劇場 春秋座 入場無料

主催：左京区民ふれあい事業実行委員会

京都芸術劇場春秋座がある京都市左京区には、美術館やホールを持った施設も多く、左京区民は日常的に芸術に触れる機会に恵まれています。そして観に行くだけでなく自分たちで表現しよう、舞台上に立とう！という意欲にあふれた人々もとても多いのです。

「左京区民文化フェスティバル」は、区内のそこで開かれている教室や同好会で、ダンスやコーラス、邦楽などを楽しんでいる方たちの発表の場です。平成九年から年に一度開かれ、第七回からは会場を春秋座に移し、今年で第十二回目を迎えます。

今年の出演団体は、フラダンスに日本舞踊、中国昆劇などなど。第七回からの常連、和太鼓も出演します。司会は京都造形芸術大学舞台芸術学科の学生が務め、どんな名司会をしてくれるかも楽しみです。

私はいつも、出演者の皆さんが、自分の演技・演奏に真剣に取り組み表情と、心の底から楽しんだ後のはじける笑顔に感動します。限られた時間の中にそれぞれの持ち味を凝縮して練り広げられる、熱気と楽しさにあふれたパフォーマンスで、観終った後にエネルギーをもらうこと請け合いです。お気に入りのグループを見つけたら、その場で入会！というのもアリかもしれませんよ！

(京都造形芸術大学 劇場企画運営室 西川真由美)

出演団体(順不同)

- 双雛会(創作舞踊)
- ゲアラオカ ラウアエフラダンス
- 純の森コーラス(コーラス)
- アイランドビューティーズ(フラダンス)
- 市原会(新舞踊)
- サバト(天正琴)
- カブアケア 辻 フラハラウ(フラダンス)
- 昆劇愛好会(中国昆劇)
- キューティーガールズ(ダンス)
- 吉津香会(創作歌謡舞踊)
- 小猿の会(日本舞踊)
- 寺田バレエ・アーツスクール(バレエ)
- おひさま太鼓(和太鼓)
- 和太鼓恵(和太鼓)
- 左京女性連絡協議会(左京音頭)



スケジュール・ピックアップ

『NEW SPRING NEW RAKUGO VOI. I』

新作落語会に京都造形芸術大学生達のコラボレーション

2008年3月23日(日) 13時30分開場予定 14時開演 京都芸術劇場 春秋座

出演：笑福亭 福笑 たま

古典落語も誕生した時には新作だ！

古典の名作落語『芝浜』も即興の三題噺から生まれた。すなわち新作落語。

膨大な創作の中から同時代の解釈、演出に絶えうるものが古典とよばれる。その古典落語の半分以上は江戸時代に京、大坂で生まれ、現在の東京落語の半分は上方落語を江戸風に翻案されたもの。

昔から新作を生み出した京都の芸術に携わる地での新作落語会。既成のスタイルよりは新たなスタイルを学生達と生み出す「NEW SPRING NEW RAKUGO VOI. I」

演じる噺家はマスコミの出は少ないが今「日本一面白い落語家」と評判の笑福亭福笑。ロンドン在住で「笑いの力で世界を救え！」がモットーの幻の噺家、笑福亭鶴笑。若手でチャレンジャー精神溢れる笑福亭たま。この三者と当大学の学生達がどのようなコラボレーション美を生み出すか？ 空間、時間を越えた新たな世界が京都芸術劇場・春秋座に現出する！

(京都造形芸術大学 劇場企画運営室 岩田廣明)

二〇〇七年度和太鼓恵 三月卒業公演

2008年3月15日(土) 開場・開演時間未定 京都芸術劇場 春秋座

料金：一般1000円 大学生以下500円 友の会700円

出演：京都造形芸術大学・京都芸術デザイン専門学校・京都文化日本語学校 和太鼓恵

和太鼓恵は、二〇〇八年三月十五日(土)に二〇〇七年度和太鼓恵三月卒業公演」を開催致します。

私たち和太鼓恵は「心・技・体」をテーマに掲げ、和太鼓の技術だけではなく、和太鼓を通してお互いの成長を目指して、日々練習に励んでいます。

本公演では、活動に対しご支援、ご協力いただき、私たちの成長を叱咤激励しながら見守ってくださった方々への感謝の気持ちを、全身全霊でお伝えしたいと思えます。

皆様のご来場、心よりお待ちしております。

(和太鼓恵 部長・加藤友則)



過去の公演から...

京都造形芸術大学主催

「モーリ・ファッション・インスタレーション」
featuring TSUMORI CHISATO」

報告 (12月9日) / 京都芸術劇場 春秋座

京都芸術劇場芸術監督毛利臣男が本年より、満を持して開催する全く新しいファッションプレゼンテーション「モーリ・ファッション・インスタレーション」featuring「TSUMORI CHISATO」が12月9日に行われました。この公演は七〇年代〜九〇年代「SEX

MIYAKE Paris Collection)の企画やファッション

ショーの演出に携わり、また春秋座初代芸術監督市川猿之助丈の作品の装置、衣装デザインを担ってきた毛利臣男芸術監督が戯曲・構成・演出・美術を執り行いました。

現在大いに注目を浴びるファッションデザイナー津森千里氏の特別協力の下、今までに発表されてきたコレクション百点以上を使い、「TSUMORI CHISATOの世界」が披露されました。

日本ファッションのルーツである歌舞伎様式の空間にて、ピアノや和太鼓のライブ演奏やダンス・映像など様々なジャンルとコラボレートしながら作り上げられた素晴らしい世界は、確かに京都から世界へ発信されたのです。

(京都造形芸術大学 芸術表現・アートプロデュースコース三回生 菅田千織)



津森千里氏 撮影=清水俊洋

刊行物のご案内

『舞台芸術』12号のおしらせ

特集Ⅱ文化と抵抗

(企画・編集) 京都造形芸術大学舞台芸術研究センター、発行 角川学芸出版、発売 角川グループパブリッシング、A5版 288頁、定価 2100円)

『舞台芸術』は批評的な視点で舞台表現の想像力の射程を拡張し、新たな作品創造の可能性を探っています。十二号では、国家・民族・宗教の問題が複雑に絡み合った中東・中央アジアの舞台作品のテキストをはじめとして、遣伝子組み換え技術を用いたパフォーマンスで全米を震撼させたアーティスト集団のマニフェスト、坂田藤十郎を迎えた「元禄上方和事復元の道」シンポジウム、観世榮夫・太田省吾両氏の追悼企画などを掲載。盛り沢山の内容となっております。

* 全国の大形書店で発売中！

* 問い合わせ先：舞台芸術研究センター

電話 075-791-9437

E-MAIL info@k-pac.org



京都芸術劇場 友の会 ご案内

二〇〇八年五月で京都芸術劇場友の会は設立から六年目を迎えます。

友の会にご入会いただければ、①「ニュースレター」の定期送付 ②劇場で指定する、チケット入手が困難な公演の先行予約 ③友の会割引の適用(四枚まで・公演によって異なります) ④定期的なチケット情報の送付などの特典が受けられます！

特典は本当にささやかですが、少しでも劇場にお越しいただける機会を増やせるように、そして友の会の方からそのご友人へと春秋座の輪が広がるようにと、頭をひねる毎日です。公演以外にも会員の皆様に参加いただけるイベントをただいま模索中です。

先日は、京都造形芸術大学創立三〇周年記念式典に、会員の皆様をご招待させていただきました。入場者数約八五〇名の中、三九名の会員の皆さんに、井上八千代先生の京舞、金利恵さんの韓国舞踊、そしてNHKアナウンサー葛西聖司さんの名調子を、お楽しみいただきました。少し暖かくなる頃には、久々に「バックステージツアー」「友の会の会」も開催いたします！

春秋座が建設中の頃から見守ってくださった方々、そして春秋座の公演を見に来られて以来応援を続けてくださった皆様には心からの感謝を申し上げます。

これからもどうぞ末永く、もつとたくさんの方にこの劇場を愛していただけますようにスタッフ一同、がんばってまいります。

公演内容に関するご感想や、劇場企画運営室へのご要望などありましたらぜひ是非お寄せ下さいませ。

「友の会ご入会方法」京都芸術劇場チケットセンター窓口にある申し込み用紙に必要事項をご記入の上、年会費二千円とともにお納め下さい。電話、Eメールでのお申し込みも可能です。※京都芸術劇場チケットセンターお問合せ先は八ページをご覧ください。

市川猿之助先生、来たる！

二〇〇七年十月二十七日、大学創立三十周年記念式典参加のため、市川猿之助先生が久しぶりに春秋座にいらつしやいました。猿之助先生は、京都芸術劇場の初代芸術監督であり、ここ春秋座では、柿落とし公演をはじめ、さまざまな舞台や講義を手がけられました。その猿之助先生のお元氣な姿には、客席一同大注目。先生は司会者からの紹介の声にその場で立ち上がり、満場の拍手に答えていらつしやいました。

ちょうど劇場ホワイエでは、猿之助先生がハビリのため描かれた絵日記展が行われており、先生の強靱な精神力に胸を打たれた方も多かったことでしょう。嬉しいサプライズとなった猿之助先生のお姿で、式典のお祝いムードが更に華やきました。



《瓜生山草》

時はじつとしていない。一日は二十四時間。何故十二進法なの？

時は流れていく。遅く感じたり、凍りつき、あつという間も。ただ時は過ぎていく。

劇場では暗い中で拍手をするか、「ブラボー！」と声をかけるか、立ち上がって拍手をする自由しか与えられていない。

美術館では一つの絵の前で食い入る様に見たり、何度も戻って見る自由はあるが、観ながら感想を話す自由はない。

見終わって他の鑑賞者と話すと、別の見方で見たくなる。

その時に思う。不自由な中で芸術を鑑賞するのは、空間ではなく時間だと。経過する時間の中で芸術が体の中の血を

熱く、陽気にさせ気持ちが高揚する。

気持ちを高揚させる作品に出会い、感動から新たな芸術作品が生み出され、次々と生み出される感動の中で生きて

いたら...

でも血が熱くなりすぎるかな。(岩田)

京都芸術劇場
ニュースレター
Vol. 7
2008.1

発行：京都芸術劇場
発行人：毛利臣男 八角聡仁
編集人：岩田廣明
デザイン：清水俊洋
発行日：二〇〇八年一月一日

月	日	曜日	開演時間	催し物	内容	会場	問合せ先	チケット販売
1月	7	月	16:10	2007年度公開連続講座 日本芸能史	コーディネーター:田口章子 【後期】第十二回「万歳」(尾張万歳) 実演/北川幸太郎	春	京都造形芸術大学 瓜生山エクステンションセンター TEL 075-791-9124 (平日9時~17時/土曜9時~16時)	公開授業 後期10,000円 ※申込は問合せ先へ
	13	日	14:00	高校演劇コンクール近畿大会優勝校春秋座招待公演 「演じる高校生」	※詳細は5ページをご覧ください	春	舞台芸術研究センター TEL 075-791-9437 京都芸術劇場チケットセンター TEL 075-791-8240 (平日10時~17時)	【京都芸術劇場チケットセンターにて発売中】 一般 1,500円 学生&ユース 500円
	17	木	18:30	映像・舞台芸術学科 卒業制作公演 『馬の最も速い走り方』	※詳細は4ページをご覧ください	春	制作 090-6203-9814 (伊藤)	【京都芸術劇場チケットセンター・下記専用フォームにて発売中】 一般 前売700円 当日1,000円 学生&ユース 前売500円 当日800円 チケット予約専用フォーム http://www.3to/yoyaku-form
	18	金	14:00	映像・舞台芸術学科 山田せつ子クラス授業発表公演 『アイとかダとかアイダとか』	※詳細は4ページをご覧ください	S	京都造形芸術大学 舞台芸術学科研究室 TEL 075-791-8103	入場無料
19	土	18:00	京都造形芸術大学 映画祭 第6回:宍戸錠映画祭 ~エースの錠日活黄金時代を語る~	上映作品:「殺しの烙印」(91min)、「拳銃は俺のパスポート」(84min) ゲスト:宍戸錠(映画スター)、林海象(映画監督)	春	京都造形芸術大学 映画学科 TEL 075-791-9353 京都芸術劇場チケットセンター TEL 075-791-8240 (平日10時~17時)	【京都芸術劇場チケットセンター・映画学科にて発売中】 一般1,500円 学生・シニア1,000円	
27	日	13:00	第12回 左京区民文化フェスティバル	※詳細は5ページをご覧ください	春	左京区民ふれあい事業実行委員会 TEL 075-771-4246	入場無料	
28	月	16:10	2007年度公開連続講座 日本芸能史	コーディネーター:田口章子 【後期】第十三回「歌舞伎(役者絵)」理論/武藤純子	春	※1月7日の欄をご参照下さい		
2月	2	土	19:00	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催 「雑新派 [nostalgia]」	※詳細は2ページをご覧ください	春	舞台芸術研究センター TEL 075-791-9437 京都芸術劇場チケットセンター TEL 075-791-8240 (平日10時~17時)	【京都芸術劇場チケットセンター、チケットぴあ、ローソンチケット、イープラスにて販売中】 S席 5,000円 A席 4,500円 ※当日券は500円増 ※ぴあPコード:376-206 ※ローソンチケットLコード:54523
	3	日	13:00	〈彼〉と旅をする20世紀三部作 #1		S	制作 090-6127-9493 (伊藤)	【京都芸術劇場チケットセンターにて発売中】 一般前売700円・当日1,000円 学生&ユース 前売500円・当日800円
	8	金	19:00	映像・舞台芸術学科 卒業制作公演 「いろあい」	※詳細は4ページをご覧ください	春	京都造形芸術大学 比較芸術学術研究センター TEL 075-791-9167 FAX 075-791-9181 http://irccas.kyoto-art.ac.jp/ E-mail irccas-info@kuad.kyoto-art.ac.jp	入場無料・要事前申込 申込は問合せ先へ
3月	1	土	10:00	東アジア芸術文化研究所 (京都造形芸術大学、弘益大学校、東北芸術工科大学) シンポジウム 「近世東アジアにおける芸術と生活 —日本・韓国・中国—」	※詳細は4ページをご覧ください	春	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL 075-791-9437	【京都芸術劇場チケットセンター、チケットぴあ、にて1月7日発売開始】 一般3,000円 シニア2,500円 学生&ユース2,000円 友の会2,700円 ※当日券は500円増 ※ぴあ Pコード:382-019
	1	土	17:00	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催 空中庭園 能ジャンクション 『當麻』	※詳細は2ページをご覧ください	S	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL 075-791-9437	【京都芸術劇場チケットセンター、チケットぴあ、にて1月11日発売開始】 一般3,000円 学生&ユース2,500円 友の会2,700円 ※当日券は500円増 ※ぴあ Pコード:381-853
	7	金	19:00	京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催 『恋する虜』—ジュネ/身体/イメージ—	※詳細は3ページをご覧ください	春	京都造形芸術大学 和太鼓教育センター TEL 075-791-9145	【京都芸術劇場チケットセンターにて1月21日発売開始】 一般1,000円 学生500円 友の会700円
	8	土	16:00			春	京都造形芸術大学 劇場企画運営室 TEL 075-791-9207	【京都芸術劇場チケットセンターにて1月下旬に発売開始予定】 料金等詳細は、決まり次第 URL http://www.k-pac.org にて 掲載いたします。
	9	日	16:00			春		
	15	土	未定	2007年度 和太鼓恵 三月卒業公演	※詳細は6ページをご覧ください	春		
23	日	14:00	NEW SPRING NEW RAKUGO Vol.I	※詳細は6ページをご覧ください	春			

2008年1月~3月 京都芸術劇場スケジュール

凡例— 春 春秋座公演 S studio21公演 指 指定席 自 自由席 未 未就学児の入場も可

電子チケットぴあ取扱 <http://t.pia.co.jp/> e+ イープラス取扱 <http://eplus.jp/>

*特に表記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースとは、学生または25歳以下対象 *シニアとは、60歳以上対象

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター … TEL:075-791-8240 (営業:平日10:00~17:00/公演開催日)

京都造形芸術大学
京都芸術劇場

Shunjuza / Studio 21

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel 075-791-9207 fax 075-791-9438

URL <http://www.k-pac.org/>

